

～大阪の風物詩「大相撲三月場所」を応援！～ 梅田のシンボル「テッド・イベール」が力士姿に！

グランフロント大阪では、来月から開催される「大相撲三月場所（3 月 12 日～3 月 26 日）」を応援すべく、本日 2 月 27 日（月）～3 月 26 日（日）の期間中、うめきた広場のアートオブジェ「テッド・イベール」への特別装飾、及び南館「せせらぎのみち」沿いに相撲のぼり旗の特別装飾を実施いたします。

「テッド・イベール」とは、フランスの現代美術家ファブリス・イベールによる緑色の熊の形をした高さ 3.5m の巨大アート作品。2018 年にグランフロント大阪まちびらき 5 周年の記念イベントで設置されて以来、梅田のシンボルとして来街者から親しまれています。

これまで、施設の催事や季節に合わせた装飾を 11 回実施し、来街者のみならず、SNS 上でも「かわいい！」「会に行きたい！」など多くの方々より反響をいただきました。12 回目となる今回は、力士姿の「テッド・イベール」と、懸賞幕風の告知板で装飾。また、「テッド・イベール」が身に着ける「化粧まわし」のデザインは、初の試みとなるデザインの公募を実施し、「満員御礼」の力強い文字と色とりどりの「テッド・イベール」が素敵なデザインに決定しました。

グランフロント大阪では、2017 年から 2019 年まで、初春の大阪の風物詩である「大相撲三月場所」にあわせて、力士の大迫力の取り組みを間近に体感できる相撲イベント「春がキタ！ うめきた場所 in グランフロント大阪」を 3 回開催しました。本年は今回の「テッド・イベール」の相撲装飾や相撲のぼり旗の装飾を通じて、まちとして「大相撲三月場所」を応援します。2024 年には、力士の方々に取り組みを披露いただけるような「うめきた場所」を復活開催し、これからも来街者の皆さまに相撲の魅力をお届けできればと考えております。

概要

■「大相撲三月場所」応援企画 グランフロント大阪 特別装飾

期 間：2023 年 2 月 27 日（月）～3 月 26 日（日）

場 所：グランフロント大阪 うめきた広場水景、南館せせらぎのみち

内 容：「テッド・イベール」の相撲装飾、相撲のぼり旗装飾

■装飾デザイン（※イメージ図につき、実際の展示とは一部異なる場合がございます）



▲装飾イメージ（「テッド・イベール」）



▲化粧まわし



▲装飾イメージ（相撲のぼり旗）
※2017 年実施の様子



▲相撲のぼり旗

※次頁以降、「うめきた場所」及び「テッド・イベール」作品情報を記載しております。

参考情報：「春がキタ！ うめきた場所 in グランフロント大阪」について

グランフロント大阪では、初春の大阪の風物詩である「大相撲三月場所」にあわせて、力士の大迫力な取り組みを間近に体感できる相撲イベント「うめきた場所」を 2017 年に初めて開催いたしました。本物の土俵を設えたうめきた広場には、広場内のみならず大階段まで埋め尽くすほど多くの方々にお越しいただき、人気力士の迫力ある取り組みや寄席太鼓、相撲甚句、髪結、初切といった相撲の伝統が披露されました。また、子供たちがちびっこ相撲に参加するなど、たくさんの方々に普段は間近に見ることのできない相撲を楽しんでいただくとともに、伝統に触れていただくイベントとなりました。

2018 年・19 年は、会場をナレッジプラザに移し開催。吹き抜け空間を最大限に活かし、上階からもたくさんの方にご観覧頂き、うめきたの春の訪れを告げる名物イベントとなっていました。

2020 年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催直前で中止を余儀なくされましたが、2022 年には、「番外編」と題した新しい形で、元力士 舞の海氏によるトークショーや優勝パレード・セレモニー車両の展示、実業団相撲選手との力比べ体験といった、幅広い年齢層の方々に相撲の魅力を感じていただく、相撲フェスティバルを開催いたしました。

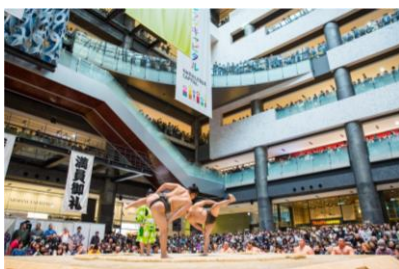
■ 2017 年 ※初開催



主な出演力士

豪栄道関
琴奨菊関
妙義龍関など

■ 2018 年



主な出演力士

豪栄道関
琴奨菊関
嘉風関など

■ 2019 年



主な出演力士

琴奨菊関
嘉風関
御嶽海関など

■ 2022 年



参考情報：「テッド・イバー」及び 作者プロフィール

2018 年 4 月、グランフロント大阪 5 周年催事「GRAND FRONT OSAKA GRAND THANKS! 5th Anniversary ART SCRAMBLE『GRAND ART FES』」でやってきた「テッド・イバー」。まちを見守り続け、5 年目を迎えました。

■作品名

テッド・イバー (愛称：クール) Ted Hyber -Cool-

2018 年 W4250XD3320XH3500mm

■解説

フランスを代表する現代アーティスト、ファブリス・イバーの作品にはいくつかのキャラクターが登場します。「テッド・イバー」もその中の一つで、特に熊（テディ・ベアー）はファブリスが好んで使うモチーフです。緑色は自然と人間の関係について提案し続けるファブリスの姿勢をあらわしており、彼の分身のような存在です。ここを通る方々に、水辺の楽しさを感じていただく役割を担っています。梅田のフレンドリーなシンボルとして、末永くかわいがってください。



■マップ

「テッド・イバー」はうめきた広場水景内に設置されています。



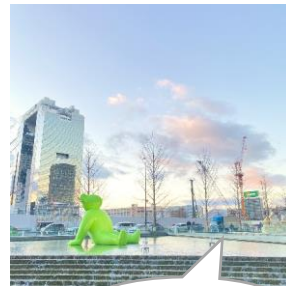
【PHOTO SPOT】

ぜひ、いろんな時間帯・アングルで撮影してみてください♪

手乗りイバー



夜景とイバー (大階段より)



夕焼けとイバー



下からイバー (うめきた広場 B1F より)

■作者プロフィール



ファブリス・イバー (Fabrice Hyber)

フランスのコンテンポラリーアート界の鬼才。1998 年第 47 回ベニス・ビエンナーレで、フランス館をビエンナーレで起こすすべての出来事として取り入れたテレビ局に変えるという斬新なアイデアを発表し、最年少で金獅子賞を受賞。2000 年を記念し、凱旋門に環境保護をテーマとする作品「時の変化」を制作。2007 年にパリ中心地のアート・スペース Le Laboratoire で、科学者とのコラボレートによる「Food for Thought 展」が開催され、大きな話題となった。

日本では、2001 年にワタリウム美術館で個展を開いたほか、2005 年に新国立劇場で行われた、振付師プレルジョー・ジュのパレエ「Les 4 saisons (四季)」の舞台美術と衣装を手がけたり、2006 年の大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレにも出品している。近年では EDF (2019 パリ)、カルティエ現代美術財団 (2022 パリ) での個展などがある。

絵画、造形、マルチメディア、インスタレーションなどさまざまな手法を巧みに用い、奇抜なコンセプトで毎回鑑賞者を驚かせてくれる。

参考情報：「テッド・イベール」過去装飾事例

過去 11 回特別装飾を実施。この度の特別装飾が 12 回目となります。

【2018 年】

▼グランフロント大阪催事
「Grand Wish Christmas」特別装飾



【2019 年】

▼ラグーマン装飾
(ラグビーワールドカップ開催時期)



▼グランフロント大阪催事
「Grand Wish Christmas」特別装飾



【2020 年】

▼グランフロント大阪催事
「春がキタ！うめきた場所」特別装飾



▼グランフロント大阪催事
「Grand Wish Christmas」特別装飾



【2021 年】

▼春の特別装飾



▼夏の特別装飾



▼グランフロント大阪催事
「Grand Wish Christmas」特別装飾



【2022 年】

▼グランフロント大阪催事
「春がキタ！うめきた場所～番外編～」特別装飾



▼夏の特別装飾



▼グランフロント大阪催事
「Grand Wish Christmas」特別装飾

